

院内トリアージの実施についてのお知らせ

救急外来をご利用くださる患者さんとそのご家族へ

1 / 3

当院救急外来では**院内トリアージ**を実施しております。


時間外等、休日又は深夜に受診した患者さん（救急車等による緊急搬送を除く）を対象に、**院内トリアージ実施体制加算（50点）**を算定しております。

院内トリアージとは

診察に先立ち、看護師・院内救命士が速やかに（目標：受付後10分以内）お体の状態を確認し、緊急度・重症度の高い方から優先的に診察を行う仕組みです。「日本緊急度判定支援システム（Japan Triage and Acuity Scale; JTAS）2023」に基づき、院内トリアージを実施しています。

診察の順番が受付順と異なる場合があります。ご来院された全ての患者さんの生命と機能を守るための取り組みとなります。ご理解とご協力をお願いいたします。

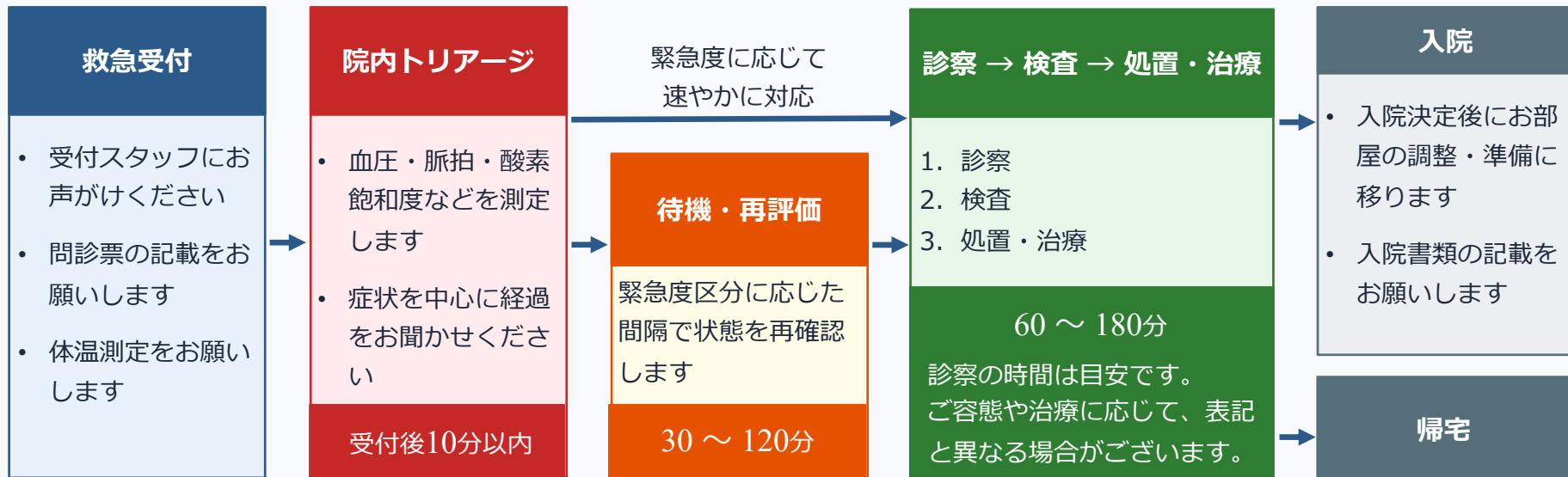
緊急度の区分（JTAS準拠・5段階）

レベル	状態の目安（例）	血圧・脈拍・意識・酸素飽和度等の変化	診察の目標	確認の間隔	
レベル1 蘇生	心肺停止状態、全く反応がない等		大	ただちに	継続的に
レベル2 緊急	締めつけられる胸の痛み、突然のまひ・言葉が出ない等		10分以内	15分ごと	
レベル3 準緊急	お腹の痛み、手足の腫れ・変形等		30分以内	30分ごと	
レベル4 低緊急	微熱や感冒症状、止血済みの傷等		60分以内	60分ごと	
レベル5 非緊急	不眠・不安、処方希望等		小	120分以内	120分ごと

● **蘇生（レベル1）** は、ただちに救命処置を開始します。● **緊急（レベル2）** は、可及的速やかに診察のご案内をいたします。

※ 診察の目標時間は目安であり、表記と異なる場合がございます。お待ちの間は区分に応じて定期的に状態を確認します。

あらかじめご理解のほどよろしくお願いいたします。



ご家族の方へ

診察中は原則としてご家族のご付き添いをお願いしています。入院となった場合は、入院病棟への移動まで原則としてご一緒ください。ご要望やご不明な点はスタッフにお声がけください。

⚠ お待ちの間に症状が変化した場合は、すぐにスタッフへお声がけください。

「痛みが強くなった」「息がさらに苦しい」「他に症状が出た」など、気になることがあればお知らせください。

お荷物・貴重品の管理に関するお願い



- ・ 救急外来内でのお荷物・貴重品等の置き忘れや紛失が発生しております。
- ・ 当院スタッフによる確認に努めておりますが、救急外来の性質上、紛失・盗難等への全面的な対応には限界があります。患者さんまたはご家族によるご管理をお願いいたします。

患者さん・ご家族の方へのお願い

事前に貴重品類の取り外しと装飾品（入れ歯や補聴器など）の申告をお願いします



現金・スマートフォン・鍵・カード類などの貴重品は事前に取り外し、ご家族へお預けください。取り外し可能な入れ歯や補聴器を装着している場合にはご自身あるいはご家族による申告をお願いします。

衣服・所持品の確認と管理をお願いします



診療中に取り外した衣服や所持品については、速やかにご家族へご返却いたします。ご返却された時点で必ず中身を確認し、ご家族の責任のもとで保管・管理をお願いいたします。

薬手帳・母子手帳・ペースメーカー手帳のみお預かりします



診療上必要となる手帳のみ医療者が保管・管理いたします。入院病棟へお渡しするか、帰宅の際はご本人・ご家族へご返却します。

移動の際はお忘れ物のご確認をお願いします



検査・処置・病室への移動の際には、必ずお荷物をすべてお持ちになったかご確認ください。